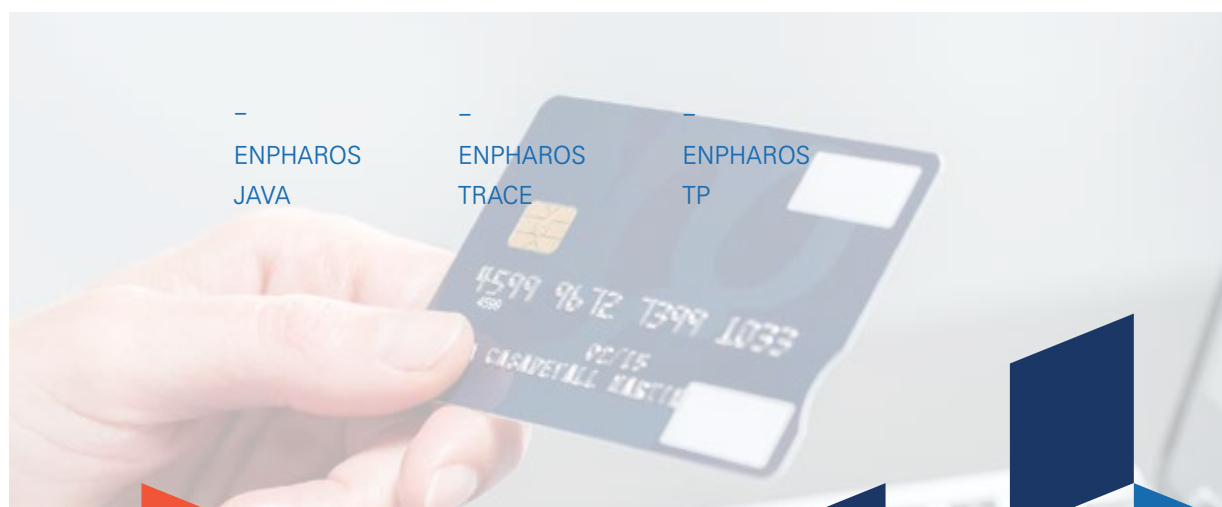

ENPHAROS

Finance Area | Case Studies



DabomSoft
Pharos for one, Pharos for all



顧客人	新韓銀行
Project	統合運営管理システム構築
期間	2006 ~ 2013
適用製品	JAVA 基盤 APM ソリューション ‘派ロスジャバ(Pharos JAVA、現 ENPHAROS JAVA

構築範囲

チャンネル、インターネットバンキング、公的年金、SSO など約 20種の業務に毎年拡張適用され、300 ライセンス規模で ENPHAROS JAVAを導入。
ENPHAROS JAVA固有の WAS モニタリング機能を含んで JAVA デモンの可用性、GC(Garbage Collector)に対するモニタリングが可能になるように構築。

目標

全社WAS統合モニタリング体系の構築

導入背景

新韓銀行は 2014年末現在 190兆ウォン総受信高を保有した国内 BIG 3 銀行と同時に国内最大規模のインターネットバンキングを運営している韓国の代表的な銀行である。
新韓銀行は次世代システム構築の時、取り入れた外国製 P 社の WASモニタリングツールがインターネットバンキングの属性である リアルタイム処理に限界があると判断、素早い対応と先制的管理次元で WAS モニタリングツールの入れ替えを検討した。

導入効果

新韓銀行はENPHAROS JAVAの導入で5分間統計を基盤とした性能モニタリングをリアルタイムで切り替えることで障害対処能力を画期的に改善することができた、ますます増大される電子金融取引を含んだ非対面チャンネルに対する高い水準のアプリケーション性能管理が可能になった。
インターネットバンキングを含んで合計、20業務を処理する WAS サーバー及び JAVAデーモンに対して一目に把握可能になり管理の効率性が大きく改善した。また、ピークタイムに効率的な資源活用を通じて一貫されたサービス性能を担保することができた。
また、正確な事後分析を通じて性能が低下されたサービスを診断して対応方案を確立することで応答時間の画期的な改善が可能になった。
このような長所を経験した新韓銀行は初期導入後 7年間持続的に開発及び運営業務にENPHAROS JAVAの使用して業務を拡大して行っている。



顧客人	ハナSKカード
Project	統合性能管理システムの構築
期間	2014
適用製品	派口ストレース(Phraos Trace、現 ENPHAROS TRACE)

構築範囲	インターネット、モバイル、MCA、対外系、安心クリック、ゲットモオなどに対するトランザクション追跡。
目標	既存業務システムのアプリケーションのソース修正なしで安定的にリアルタイムでトランザクション追跡
導入背景	ハナSKカードは既存ハナ銀行システムに導入された H社のトランザクション追跡製品を導入、運営中だったが、リアルタイムトランザクション追跡時、不可欠で対象システムに高い負荷を発生させて処理件数モニタリングのみに制限的に使っていた。実際に障害分析など本来の目的達成のためにソリューション入れ替えを検討したハナSKカードは対象システムに負荷を最小化しながらも Calltree 分析がすぐれた ENPHAROS TRACEを最終選択、取り入れた。

導入効果	業務システムの標準的なミドルウェアで使われた WebLogic, Tuxedoと対外系標準で使われていた AnyLinkを統合トランザクション追跡することで トランザクションの多い状況でも負荷を及ぼさずに障害をリアルタイムに分析することができるようになった。
------	---



顧客人	全北銀行
Project	次世代システム E2E性能管理システム構築
期間	2012 ~ 2013
適用製品	派口ストレース(Pharos Trace、現 ENPHAROS TRACE)

構築範囲	コアバンキング、チャンネル、インターネットバンキング、EAI 等全ての WAS 基盤システムに ENPHAROS TRACEで各領域別にトランザクション追跡、性能分析体系の構築
------	--

目標	リアルタイムモニタリング、全区間トランザクションの追跡、障害感知及び障害原因の把握、サービスの総合的な性能管理システムの構築。
----	---

導入背景	全北銀行は地方銀行で本格的な金融専門行への躍進のためにビッグバン方式の次世代システム構築を決めた。次世代システムの最新のオープン系のために分散化されたコアバンキングシステムのトランザクション追跡が核心機能だと判断した全北銀行は WAS 及び JAVA 業務システムのトランザクション追跡が可能なソリューションの検討に取り掛かって、多数の関連銀行の次世代システムの E2E トランザクション追跡事例を確保した ENPHAROS TRACEを取り入れることに決めた。
------	---

導入効果	全北銀行はウェブ、インターネットバンキング、MCI、コアバンキング、EAI, FEPを経るトランザクション追跡観点の VIEW、業務観点の VIEW、システム観点の VIEW など多様な性能モニタリング Viewを通じて統合性能管理体系を具現して次世代システムの安定的なオープンを果たすことができるようになった。迅速な障害感知はもちろん障害対応を通じてサービスレベルの安定的で持続的な運営が可能になって完成度の高いサービス品質を取り揃えるようになった。
------	--



顧客	慶南銀行
Project	次世代システム の APM 構築
期間	2013~2014
適用製品	派ロストレース(Phraos Trace、現 ENPHAROS TRACE)

構築範囲	チャンネル統合、コアシステム、EAI, FEP、対外系。
目標	リアルタイムトランザクション追跡、E2E 全区間のトランザクション追跡、迅速な障害感知、サービス中心の性能管理システム構築。
導入背景	慶南銀行は次世代システムを構築しながら MCI システムで FEP を経て処理されるすべてのトランザクションに対するリアルタイム追跡と遂行 SQL に対する遂行時間、Bind Variable, plan 情報のリアルタイム確認が必要であると判断、関連ソリューションの検討に取り掛かった。ソリューション検討結果、ENPHAROS TRACE が業務観点でリアルタイムモニタリングはもちろん、システム障害及びサービス観点の深刻なエラー発生時、アラーム設定を通じて担当者へすぐ通知が可能であると判断して PHAROS TRACS を取り入れる事になった。

導入効果	慶南銀行は中央集中式管理体系の構築で MCI で FEP を経て処理される全区間のシステム及びトランザクション状況をリアルタイムモニタリングを実施することができるようになった。プログラム内部の遂行 SQL 情報(遂行時間、bind variable 情報、fetch 件数、遂行 SQL 文、遂行時のエラー情報、SQL plan 情報など)を願う時点(リアルタイムまたは事後処理)に合わせて確認可能で管理の効率性及び一貫されたサービス水準を担保することができた。特に業務プロセスで発生したエラー情報は統計チャート情報で提供されて事後サービス品質改善の重要指標に活用された。業務特性を考慮して提供されるダッシュボードレイアウトは最小限の時間投資で直観的な情報把握が容易でシステム運営者、業務担当者の高い満足度を導き出すことができた。
------	---



顧客	ヒョソンキャピタル
Project	次世代システム統合官制システムの構築
期間	2012
適用製品	派ロストレース(Phraos Trace、現 ENPHAROS TRACE)

構築範囲	JAVA で開発されるキャピタル社の次世代システムの全体業務領域にかけて WAS, DB をモニタリングして全体統合ダッシュボードの構築。
目標	区間別トランザクション追跡、性能モニタリング及びイベント感知、事前障害予測のための多様な観点の統計分析情報の提供、総合的状況管理のためのシステム構築。
導入背景	多数のベンダーが提供する異機種の性能、障害管理ソリューションをそれぞれ導入、運営して来た ヒョソンキャピタルは管理者の心的負担と運営管理費用の増加を同時に解決するために開発言語(C, JAVA)にかかわらず全区間別トランザクション追跡と総合状況管理システム構築が可能で ENPHAROS TRACE を最終選択して導入が決定した。

導入効果	ヒョソンキャピタルは ENPHAROS TRACE の導入後、発生するトランザクションに対するリアルタイムトランザクション追跡モニタリング体系を取り揃えて WAS のリアルタイムモニタリングと性能統計情報分析、リアルタイムトランザクション追跡区間別の Call Tree 分析、WAS の性能統計情報分析など、ダッシュボードを通じて管理することでサービス品質改善及び統合管理を実施可能になった。異機種の性能及び障害管理ソリューションの管理ポイントを一元化した統合モニタリング体系を構築することで管理業務の効率性向上及び画期的費用節減を成すことができた。
------	--



顧客人	韓火投資証券
Project	次世代システムのトランザクション追跡システムの構築
期間	2012
適用製品	派ロストレース(Phraos Trace、現 ENPHAROS TRACE)

構築範囲

注文/締結業務と次世代システム対象業務を含んだすべてのトランザクション関連の証券業務システムに対するトランザクション追跡システムの構築。

目標

MCI、勘定系、FEPでのトランザクションの追跡。

導入背景

韓火投資証券は証券業の特性の上、競争力のあるサービス速度の持続的な保障がブローカーり売上げと直結されると判断、マルチティア環境で各ティア別の応答時間に対する区間別リアルタイム分析が可能なソリューション検討に取り掛かった。

特にリスク管理次元で締結中のシステム性能低下とサービス中断モニタリングが重要な事案であるにもかかわらず、少ない管理者が同時に多数のサービス状態を個別にチェックしなければならない業務効率性改善に重点を置いてツールの選定を行った。

管理者の運営負担の最小化、運営の中でシステムに及ぶ影響もゼロ、区間別 ON/OFF 設定容易、性能問題に対する自動分析などをベースにソリューションを検討した結果、すべての要件を満たしたENPHAROS TRACEを最終選択した。

導入効果

韓火投資証券はPHAROS TRACEの導入で統合画面を通じる多重業務の性能モニタリング体系の構築及びしきいちの設定を通じるアラーム発生措置で管理者の負担を最小化することができた。

また、多様な条件の TOP-N 統計を算出して、これを特定時点のデータと比べて業務サービスの処理速度の向上とシステムの安定性に大きく寄与することができた。

また、一つのトランザクションが処理される過程で発生した多くのメタデータ(トランザクション情報、エラー情報、SQL情報、処理時間、method の call 情報)などを要約して一画面で確認、管理することができてリアルタイムトランザクションに対する分析の容易性も確保することができた。

個別処理されたトランザクションを業務単位で多くの観点で統計情報を多様なチャートで生成して表示することで業務サービスの質が大きく改善した。、業務別担当者が多様な視点で業務に合うダッシュボードを選択、直観的なモニタリングが可能になった。



顧客人	信協中央会
Project	システムモニタリング及びトランザクション追跡システムの構築
期間	2014
適用製品	派口ストレース(Phraos Trace、現 ENPHAROS TRACE)

構築範囲 MCI、勘定係、情報系、EAI、単位システムにかけた全体業務のトランザクション追跡。

目標 次世代システム構築とは別途にAS-ISに運営される業務システムの全体モニタリングブレイムウォックを構築して業務生産性を革新した。

導入背景 信用協同組合は構築されたマルチティア環境に基づいたサービスの応答速度の担保、及びサービス改善のためにティア間の応答時間に対する区間分析とすべての業務に対するモニタリング、及びすべてのトランザクションに対する追跡が必要であると判断して関連ツールの選定作業に取り掛かった。アプリケーションソースの変更発生可否、過去特定時点との統計データ分析支援、各業務別統計算出及びエラーに対するリアルタイム分析支援、中央集中式管理体系の構築の可否、設定または変更発生時アプリケーション影響もゼロなどの項目を考慮した結果、ENPHAROS TRACEをシステムモニタリング及びトランザクション追跡ソリューションで最終選択した。

導入効果 信用協同組合はトランザクションの開始から完了に至る全区間を対象範囲でE-to-Eトランザクション追跡システムを構築して、システム区間別データ分析をベースに業務システムのチューニング及び業務サービス改善と障害予防体系を構築してサービスの可用性確保及び応答速度の改善を推進することができるようになった。事後分析のための各トランザクション及び業務別エラー/障害情報に対する統計情報と当時のトランザクション状況情報を分析して問題発生時に徹底的な原因分析とともに事後サービス改善に活用することが可能になった。また一つの画面で全区間のシステム及びトランザクション状況をリアルタイムで把握することができる中央集中管理体系を構築して管理の効率性を大きく改善する効果をおさめている。



顧客人	IBK캐피탈
Project	次世代統合モニタリングシステムの構築
期間	2012
適用製品	派口スJAVA(Phraos Java、現 ENPHAROS JAVA)

構築範囲 勘定係、情報係、チャンネル、SSO、対外系に対する WAS 性能モニタリング。

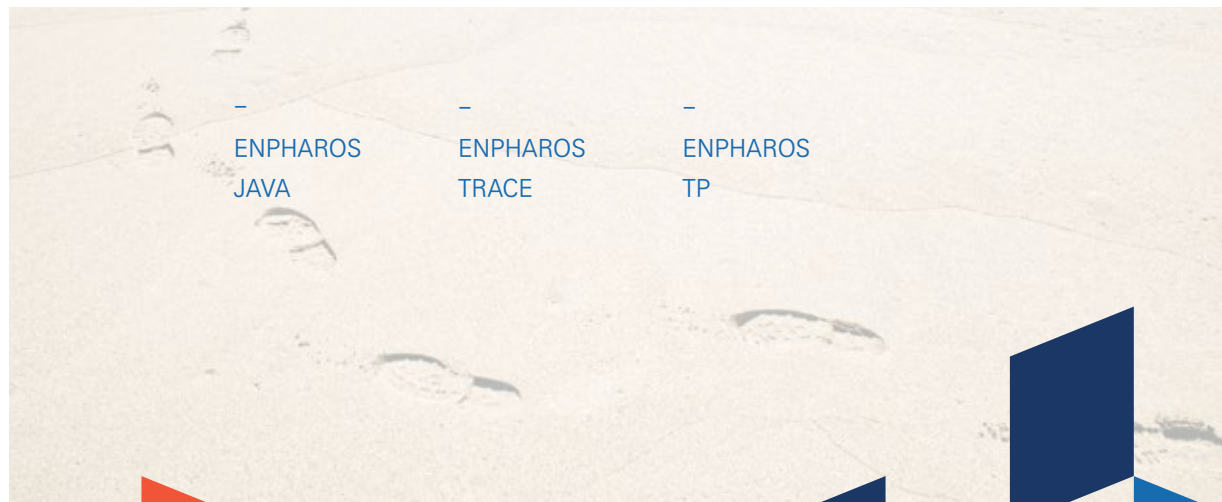
目標 SMS, NMS, APM, DBM などの統合されたインフラ構築

導入背景 IBK캐피탈は先頭캐피탈社として背伸びするために推進した次世代システム構築過程で個別的なインフラの管理次元を越して少数のIT 管理者で総合的な官制モニタリング体系の構築が必要であると判断、統合概念に充実なENPHAROS JAVAを標準 APM ソリューションと選定した。

導入効果 IBK캐피탈は WAS, DB, OS, N/Wのモニタリング VIEWを単一ダッシュボードを通じて統合管理することで管理ポイントを革新的に節減した。開発者、運営者、管理者が同じコミュニケーション窓口を保有するようになって IT 運営革新を成すことができた。

ENPHAROS

Public·Education | Case Studies



DabomSoft
Pharos for one, Pharos for all



顧客人	国民健康保険公社
Project	統合徴収業務の統合性能管理システムの構築
期間	2012
適用製品	派ロストレース(Phraos Trace、現 ENPHAROS TRACE)

構築範囲 4大保険統合徴収システムの WAS, TP-Monitorに対するトランザクション追跡システムの構築。

目標 特定時期でのピーク時のトランザクション量を安定的な性能を維持するための高い可用性の確保

導入背景 国民健康保険公社はお互いに違う IT システムの複雑なトランザクション追跡管理のための関連ツール選定作業に取り掛かった。アプリケーションソースを変更せず、トランザクション追跡システム構築可能性と強力なリアルタイムモニタリング及び早い障害感知と障害分析、最短時間でシステム安定化などに高い点数を受けた ENPHAROS TRACEを取り入れるようになった。

導入効果 3ヶ月プロジェクト期間を経て ENPHAROS TRACEを導入、運営に入って行った国民健康保険公社は強力なリアルタイムモニタリング、性能低下発生時に早い障害の感知及び早い障害分析を通じてサービスオープン後、短期間にシステム安定化を完了した。ピークタイムの時 1200TPSの大量トランザクションに対するリアルタイムトランザクション追跡を果すなどオープン後、短期間にシステム安定化を実現することができた。



顧客人	郵便局郵政事業本部
Project	郵便物流 APMの構築
期間	2012
適用製品	派ロスJAVA(Phraos Java、現 ENPHAROS JAVA)

構築範囲 郵便局郵便物流システム のWAS 性能管理システムの構築。

目標 WASに対する安定的な性能モニタリング。

導入背景 郵便局優勢事業本部はますます市場が広がる郵便局の物流システムが祝日のような物流量のピークの時、トランザクションがますます増加して HW 増設以外にアプリケーションチューニングを通じる根本的な解決策の模索時点でツール導入を検討した結果ENPHAROS JAVAを最終選択した。

導入効果 郵便局郵政事業本部は秋夕（日本のお盆）、旧正月のような宅配業務のピークシーズンに システムが遅くなった問題をアプリケーションチューニングを通じて安定的に運営することができた。

**構築範囲**

電子決裁/ポータル業務等の WAS 性能管理。

目標

異機種WASに対する統合管理。

導入背景

海軍は古いシステムの入替事業の時、新たに導入する WASサーバーの安定的な管理のために 異機種 WASに対する中央集中式統合管理が可能な大容量モニタリング経験を保有した製品を検討してENPHAROS JAVAを最終選定した。

導入効果

海軍は運営中の部隊の電子決裁とポータル以外に各種学士管理、図書館管理等のWASで成り立つ全体業務の性能を中央で統合管理してモニタリング業務の効率性を向上することができた。

顧客人 海軍

Project 主コンピュータ入れ替え事業の APM構築

期間 2009

適用製品 派ロスJAVA(Phraos Java、現 ENPHAROS JAVA)

**構築範囲**

鉄道産業情報ポータル業務システム のWASモニタリング。

目標

WAS 性能モニタリング及びチューニング。

導入背景

鉄道施設管理公団は主要業務システム中の一つのポータルシステムを JAVAで構築する過程で JAVA 及び WASに対する品質管理及び今後の運営段階で安定的な管理道具が必要であるという判断の下に多数の顧客社で性能と安定性が検証された ENPHAROS JAVAを最終選定、取り入れた。

導入効果

鉄道施設管理公団は一緒に取り入れた DB 性能管理ツールと共にENPHAROS JAVAを適用、運営することでポータル業務システムの安定的な性能管理及び障害の診断道具として使うようになった。

顧客人 鉄道施設管理公団

Project WAS モニタリングシステム

期間 2010

適用製品 派ロスJAVA(Phraos Java、現 ENPHAROS JAVA)



顧客人	亜洲大学
Project	WAS 性能管理システムの構築
期間	2010
適用製品	派ロスJAVA(Phraos Java、現 ENPHAROS JAVA)

構築範囲

WAS 性能管理システムの構築。

目標

WAS インフラに対する性能管理。

導入背景

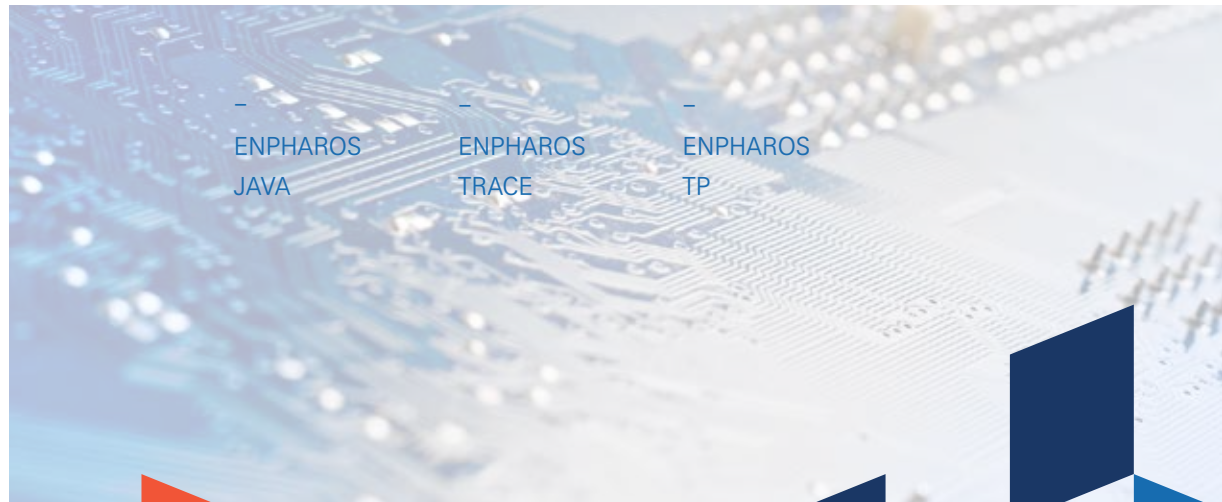
亜洲大学は韓国の中部圏最高の大学に背伸びするために次世代システムを推進する事にして、主なる業務を Client/Server 方式でインターネットに最適化されたJAVA基盤システムを開発することになった。特に WASが次世代システムの核心インフラであるだけに安定的な管理ができなければならないしオープンの時、性能測定ツールとして WAS 性能管理ソリューションが必要であると判断して検討した結果、プロファイリング機能が卓越ながらも開発の後、運営の時にシステムへの負荷が少ないENPHAROS JAVAを採択、取り入れるようになった。

導入効果

亜洲大学は全体 WASに対する性能管理手段を確保することで安定的な学生管理のための基礎を用意した、特に特定時点に全国的な現象である大学受講申請システムの受講申し込みシーズンのトランザクション過負荷問題を適切にモニタリングして過負荷遮断機能を通じて繰り返されて発生した WAS システムのダウンを防止することができる手段を確保することができた。

ENPHAROS

Enterprise | Case Studies



ENPHAROS
JAVA

ENPHAROS
TRACE

ENPHAROS
TP



DabomSoft
Pharos for one, Pharos for all



顧客人	KT
Project	BIT(次世代システムの名前) ミドルウェアモニタリングシステムの構築
期間	2012 ~ 2013
適用製品	派ロスJAVA(Phraos Java、現 ENPHAROS JAVA)

構築範囲	OSS, BSS業務用 APM構築。
目標	新システムに導入した Oracle SIEBEL CRM専用 APMソリューション開発及び KT 新システムの業務領域に必要な WAS モニタリングツールの導入
導入背景	KTは通信インフラ革新のために推進した 新システム (BIT) プロジェクトの過程で選定された ERP(Oracle SIEBEL) 及び各種 WAS, ESB などをモニタリングすることができるソリューション検討に取り掛かった。 WAS モニタリングの自社パッケージを保有して、選定された業務用 ERPである C++基盤の SIEBEL CRM モニタリングの開発能力を保有したダボムソフト (株) を最終選定した。
導入効果	KTは BIT プロジェクトで核心的な業務用 ERPである SIEBEL を含んだ専門 ERPの導入時、別途の性能モニタリングツールの不在で性能管理に難しさを持っていたが、ダボムソフト (株) が開発、供給した Pharos SIEBEL, Pharos RODOD などの支援で安定的に運用ができた。多数の WAS基盤の業務用インフラソリューションにENPHAROS JAVAを取り入れてモニタリングすることで OSS, BSSに核心的な管理手段としての役割をするようになった。



顧客人	SKエネルギー
Project	WAS 性能管理システムの構築
期間	2008
適用製品	派ロスJAVA(Phraos Java、現 ENPHAROS JAVA)

構築範囲	SKエンクリーンポータル業務のWAS 性能モニタリングシステム。
目標	ガソリンスタンドのポータル業務システムの安定的な WAS 管理。
導入背景	SKエネルギーは全国に加盟店を置いて事業を営む注油業の特性上、競争力強化のために 24時間中断なしのサービスの安定性の確保が前提されなければならないという点で WAS 可用性管理が重要であると判断、WAS 性能管理ソリューションを検討結果、ENPHAROS JAVAを最終選定した。
導入効果	SKエネルギーはエンクリーンポータルの業務の安定化及び障害発生の時迅速な診断を通じて障害復旧に必要な時間を最小化する一方、根本的な原因分析が可能になって同じ障害再発を基本的に防止することができた。



顧客人	仁川空港
Project	空港業務運営システムの APM構築
期間	2012
適用製品	派ロスJAVA(Phraos Java、現 ENPHAROS JAVA)

構築範囲 財務会計、予算管理、管理会計、成果管理など ERP 業務に対する APM 構築。

目標 ERP 開発の時 WASに対する管理及び JAVA プログラムの診断。

導入背景 仁川空港は世界 1 など先進空港への発展及び維持のために空港業務システムの高度化を推進する中に経営全般の ERP 構築の時、主になる WASを 24*365 安定的に運営、管理するための目的に WAS 性能管理ソリューションを検討した結果、ENPHAROS JAVAを最終選択、取り入れるようになった。

導入効果 仁川空港はENPHAROS JAVAの導入で現在導入、運営中の ERP 業務を 24時間中断なしに安定的にサービス可用性を維持することができた。これを通じて世界一流空港の地位を維持、発展させるのに寄与したと自評している。

ENPHAROS

Pharos for one, Pharos for all

ダボムソフトは人と技術、
産業別システム特性と業務に対する
理解を土台に最適化された
性能管理ソリューション
開発に邁進して来た
APM 専門家グループです。

‘Pharos for One, Pharos for ALL’をモットーで、
アプリケーション及びトランザクションの
交差性能モニタリングを通じて
核心ビジネスの性能と安定性を提供するのに力を注ぎます。